マレリ、次の変革フェーズを率いる最高経営責任者（CEO）にローラン・ファーブルを正式任命



ブラム・ショット、Chapter 11 からの脱却後にマレリ取締役会会長に就任予定

自動車業界のグローバル・テクノロジー・パートナーであるマレリは本日、ローラン・ファーブル（Laurent Favre）を最高経営責任者（CEO）に即日付で任命したことを発表しました。暫定 CEO を務めてきたフレデリック・“フリッツ”・ヘンダーソン（Frederick “Fritz” Henderson）は、その任期を終えることとなります。

ファーブルは、マレリの Chapter 11 からの脱却、およびそれに続く次の変革フェーズを率います。今回の任命は、本年 4 月にマレリのレンダー・アドホック・グループ（Ad Hoc Group of Lenders）が、ファーブルがヘンダーソンの後任となることを発表したことを受けたものです。https://marelli.com/jp/news/marelli-announces-leadership-appointments.html

これとは別に、マレリのレンダー・アドホック・グループは本日、Chapter 11 からの脱却後、かつ再建に必要なすべての前提条件が満たされた時点で、ブラム・ショット（Bram Schot）をマレリの取締役会会長に任命する予定であることを発表しました。会長として、ショットは CEO および経営陣による会社の戦略的優先事項の遂行を支援します。
ショットは、メルセデス・ベンツ、その後フォルクスワーゲン・グループにおいて 30 年以上にわたり要職を

歴任し、直近ではアウディの CEO を務めました。また、Shell、Richemont、Cognizant、Signify などで取締役を務め、そのうち 2 社では副会長を務めるなど、豊富な取締役会での経験を有しています。また、Carlyle Group のシニア・アドバイザーも務めています。

マレリ取締役会は、マレリにとって極めて重要な時期にリーダーシップを発揮したヘンダーソンに感謝の意を表します。ヘンダーソンは事業に安定と明確な方向性をもたらし、従業員と顧客を支えるとともに、マレリの OEM パートナーとの協議を大きく前進させました。

エグゼクティブ・チェアマン、ディネシュ・パリワル（Dinesh Paliwal）のコメント

「フリッツは非常に厳しい局面でこの役割を引き受け、的確な判断力、明確な方向性、そして強い責任感をもってマレリを率いてきました。取締役会を代表して、会社、顧客、そして従業員のために彼が尽力してきたすべてに感謝します。

ローランは、グローバルな自動車業界に関する深い知見と、複雑なグローバルビジネスを率いてきた確かな実績を有しています。顧客への責任を果たすために必要なオペレーションの規律と、マレリの製品・技術が持つ今後の可能性の双方を深く理解しています。」

ファーブルは 20 年以上にわたり、ThyssenKrupp、ZF、Benteler をはじめとする主要な自動車部品サプライヤーで要職を歴任し、Benteler ではオートモーティブ部門の CEO を務めました。
2020 年から 2025 年までは Plastic Omnium（現 OPmobility）の CEO を務めました。在任中には、同社の大きな変革を主導し、グローバルでの事業基盤の拡大、顧客基盤の多様化、技術・製品ポートフォリオの拡充を推進しました。

ローラン・ファーブル（Laurent Favre）のコメント

「マレリの歴史におけるこの重要な節目に、会社を率いることを大変光栄に思います。困難な時期にリーダーシップを発揮し、マレリのチームとともに大きな前進を実現してきたフリッツに感謝します。

私たちの当面の最優先事項は、Chapter 11 からの円滑な脱却に必要な取り組みを完遂することです。脱却は重要なマイルストーンですが、事業再建はその先も続きます。マレリの財務基盤の回復、事業全体のパフォーマンス向上、そして着実な遂行を通じた顧客からの信頼のさらなる強化に注力していきます。

Chapter 11 からの脱却後は、オペレーショナル・エクセレンスと、重点を絞ったイノベーション、収益性のある成長を組み合わせることにより、財務基盤がより強固で、競争力の高いマレリを築いていくことが私たちの目標です。
マレリには、優れた人材、強い技術力、そして長年にわたり築いてきた顧客との関係があります。世界各地のマレリの仲間とともに、これらの強みを持続的な成果につなげ、従業員が誇りを持てる会社を築いていくこと

を楽しみにしています。」

フリッツ・ヘンダーソン（Fritz Henderson）のコメント

「この重要な時期にマレリを率いることができたことを光栄に思います。従業員の皆さんが成し遂げてきた進展を誇りに思うとともに、事業と顧客に対する皆さんの献身に心から感謝しています。

ローランは、自動車業界における豊富な経験を持ち、この業界で成功するために何が必要かを明確に理解しています。ローランとマレリのすべてのチームが、会社を次のステージへと前進させていくことを心から願っています。」

ブラム・ショット（Bram Schot）のコメント

「マレリには、成功に必要な人材、技術、そして顧客との関係があります。Chapter 11 からの脱却後、会長に就任し、ローランとチームを支援していくことを楽しみにしています。
私たちの長期的な重点事項は明確です。 約束したことを確実に実行し、顧客とのパートナーシップを強化し、より強く、競争力があり、持続可能なマレリを築いていくことです。」

マレリは、Chapter 11 からの脱却に向けた取り組みを進め、長期的な成功に向けた基盤を構築していく中で、引き続き、顧客、従業員、サプライヤー、その他のステークホルダーと緊密に連携してまいります。

訳注：当文書は、英国ロンドン時間 2026 年 11 月 5 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。